



## 第2回くじら浜公園駅伝大会

### 目次

トピックス.....	2
姉妹都市ブルームコーナー.....	4
住民福祉課便り.....	6

くじらの博物館学芸員便り.....	8
お知らせ.....	10
保健衛生関係行事予定.....	12

## ～紀州材ベンチ製作～

平成 24 年 1 月 23 日（月）に太地小学校 6 年生の子どもたち、26 日（木）には、太地中学校の生徒たちがそれぞれ紀州材ベンチの製作を行いました。

製作に参加した子どもたちは、役場産業建設課の人たちの指導のもとで慣れない工具等を使いながらみんなで力を合わせて一生懸命に製作に取り組み、小中学校合わせて 13 脚のベンチが出来上がりました。



## ～きんかん採り～

平成 24 年 1 月 26 日（木）、中学校グラウンド付近の町有地で生活介護事業所「えん」の皆さんがきんかんの収穫を行いました。

同事業所の皆さんは、きんかん採りを楽しみながら袋がいっぱいになるぐらい採っていました。



## ～くじら浜公園駅伝大会～

平成 24 年 2 月 5 日（日）、太地町を舞台にくじら浜公園駅伝大会が開催されました。

今大会には、郡内の団体及び県外のチーム、また、太地町からも中学生やスポーツ少年団等の人たちが参加し、総勢 52 チーム、273 人の選手たちがそれぞれのたすきを肩にかけ健脚を競い合いました。沿道では、たくさんの観客が選手たちに温かい声援や拍手を送っていました。

また、太地町ジュニア駅伝チームが小・中学生の部とともに 2 位に入賞し、大健闘いたしました。



中学生ジュニア駅伝チーム



小学生ジュニア駅伝チーム

## ～平成 23 年度市屋区記念植樹式～

平成 24 年 2 月 10 日（金）、太地町公民館前で市屋区長 仲様、市屋区長代理 引地様をお招きして、平成 23 年度市屋区記念植樹式を行いました。

この植樹の経緯は、昨年台風 12 号で市屋地区が甚大な被害を受けた時に、太地町も多くの皆様とともに復旧に向けて、お手伝いをさせていただき、その縁で同地区の皆様から、ご寄付とシダレ桜 7 本、ソメイヨシノ 2 本の計 9 本の桜のご寄贈をしていただきました。

今回植樹された桜たちは、春に立派できれいな花を咲かせてくれることでしょう。



## ～吉野熊野国立公園海岸漂着ゴミ清掃を行いました～

平成 24 年 2 月 11 日（土）、産業建設課の主催で通谷海岸一帯に漂着したゴミの清掃を行いました。

この清掃は、昨年 9 月の台風 12 号により沿岸部に漂着した流木の集積焼却や不燃物ゴミの収集を目的として行われ、町内の各種団体の人たちや町民の方を含め約 100 名の方々が参加しました。

皆さんの協力のおかげで約 600 kg のゴミを回収することができました。





## We Love Broome!! ～姉妹都市ブルームのコーナー～

今月は、2名のセント・メアリーズ・カレッジの生徒の感想文をご紹介します。彼らの目を通して見ると、太地では当たり前の文化や生活が、少し違って見えてきます。

◆僕の名前はジョーハイ・ハマグチです。僕はセント・メアリーズ・カレッジの10年生（高校1年生）です。

僕がこの交流事業に参加しようと思ったのは、1955年に祖父が日本からブルームに働きに来たという境遇や家族の縁がきっかけです。僕には現在も和歌山県に親戚がいます。祖父の日本での家を訪れることができ、祖父の友人たちにも会うことができました。太地の人々もまたブルームについて興味を持って聞いてくれたので、僕の家族のことやブルームでの生活について話をすることができました。

個人的に、僕の日本での生活は想像していたよりもずっと気楽でした。おそらくホストファミリーがアメリカに住んでいたことがあり、英語がとても上手だったからだと思います。店で何かを買う時も、ただ商品を置いてうなずくだけで、通訳がいなくてもとても簡単でした。日本の風習には、床に座って食事をしたり、家の中に入る時に靴を脱いだり、人に会う時におじぎをしたりするなど、慣れるのに少し時間がかかるものもありました。

お寺での訪問とそこでの文化体験はすごかったです。くじらの博物館への訪問もとても興味深く、クジラが太地の人々にとってどれだけ重要かということを知ることができました。またブルーム展では、2つの町の関係の重要性をより強く理解することができました。

ブルームと太地の間に強いつながりがあるということは、太地でのホストファミリーや町全体、僕たちのために開催された町の歓迎会など、人々の温かい歓迎からよくわかりました。

全体として、この旅はとても良い経験になったと思います。これは素晴らしい旅であり、ブルームの歴史についてより正しく理解し、発見し、気が付くための良い機会なので、この訪問に応募する資格のあるすべての人に参加してもらいたいです。

◆こんにちは、私の名前はジョージア・デグアラです。私が太地との交流に申し込んだのは、自分の文化と全く異なる他の文化を体験したかったからです。この交流で間違いなく体験することができたし、この経験からとても成長することができたと思います。

日本はオーストラリアと全然違いましたが、似たような特徴もいくつかありました。レディー・ガガやマイケル・ジャクソン、ジャスティン・ビーバーのような英語の歌を聴いたり、トマトソーススパゲッティーやベーコン・エッグのような西洋の料理を作っていたり、私たちのように運転する時は左側を走っていたりしました。

しかし、日本はやはり全く異なる文化を持つ国でした。たとえば 150 ドルを 10,000 円に両替した時、自分がとてもお金持ちになったような気分になりました。

もちろん、言葉も違います。しかしホストファミリーとの時間も終わる頃には、彼らが英単語を話さなくても理解できるようになっていました。ホストシスターの英語はあまり流暢ではありませんでしたが、私たちはお互いとてもよく理解し合うことができました。

ホストファミリーは本当に素晴らしかったです。私のために何でもしてくださって、正直に言って望んでいた以上の最高の家族でした。ホストファミリーは、私の日本のお母さん、お父さん、妹であることに誇りを持ってくださって、私を娘として迎えてくださいました。

最も大変だったのは、日本の食べ物です。おいしいものもありましたが、オーストラリアで食べる日本料理は日本で食べたものと全く違います。すべて食べてみて、その味に慣れるのに努力しました。初めて食べるものを味わうことで、成長できたと思います。

太地町は山や海に囲まれて美しかったです。どの通りにもスピーカーがあり、毎日 5 時に町内放送があります。私たちはその時地域で唯一日本人ではなかったので、地元のみなさんは立ち止まってじっと見つめてきましたが、いつもうなずいて微笑んでくれました。

違いはたくさんありましたが、日本はとてもなじみやすい国でした。いくつかの習慣に慣れ、伝統を学び、本当に快適に過ごせました。日本のみなさんは礼儀正しくどんなことにも親切で、訪れるには最高の国でした。

この交流は過去と現在の両方にとって非常に重要です。この訪問が私にとって、また 2 つの町とその地域社会にとって、どれだけ大切で素晴らしかったかということをお互いに伝えたいです。

## 花粉症とアレルギー性鼻炎について

今冬は寒い日が続きましたが、これからだんだんと暖くなり、新緑のきれいな季節となっていきます。花粉の飛散が多くなるこの時期は花粉症の季節でもあり、連続して何度も起こるくしゃみや、鼻水、鼻づまり、激しい眼のかゆみ、結膜充血、涙目などの症状に悩まされる人が多くなります。



### 【花粉症の原因】

スギ（2～4月）、タンポポ（2～10月）、ヒノキ（3～5月）、イネ科カモガヤ（5～7月）、ブタクサ（8～10月）などが代表的なものです。これらは、主に近畿地方のことですので、地域や地方によって多少の季節の違いがあります。

環境省が実施している調査研究報告によれば、今シーズンのスギ花粉の飛散開始時期は、全国的に例年よりも遅くなると見込まれています。なお、今シーズンのスギ・ヒノキ花粉総飛散量については、全国的に例年並みか例年よりもやや少なくなる、と予測されています。

### 【花粉症・アレルギー性鼻炎の治療】

花粉症かな？と思ったら、症状が軽くてもまずは医療機関で医師の診察を受けましょう。ひどい鼻の症状がある場合は耳鼻咽喉科、目の症状がひどい場合は眼科をおすすめします。内科、小児科、アレルギー科などでも診療が受けられます。原因がわかれば、原因を遠ざけることもできますし、薬で症状を抑えたり、アレルギー反応を弱めたりする治療もあります。早めに治療すると、鼻粘膜の炎症の進行を防ぎ、早く正常化させることができるため、花粉症の重症化を防ぐことができます。

薬には市販薬もあります。市販薬も用量どおり服用し、できれば薬剤師の指導を受けましょう。

### 花粉症・アレルギー性鼻炎の予防策

これまで軽症で花粉症に気がつかなかった方も、花粉を鼻からたくさん吸い込んだり、目に入ったりすると花粉症の症状が強くなります。マスクを着用したり、うがい、洗顔で花粉を落としたりするなど、花粉になるべく接しないことが重要なことです。花粉が人間に付着しやすいのは表面に出ている頭と顔です。メガネやつばの広い帽子を着用することも予防になります。服装はなるべく肌が出ないもので、表面がすべすべした綿かポリエステル等の化学繊維の素材のほうが花粉はつきにくいでしょう。

ダニやほこりなどが原因のアレルギー性鼻炎の場合は、こまめに部屋の掃除をするだけでも効果があります。（掃除機を使うときは排気ではこりをまき散らさないように注意してください）

また、睡眠を良くとること、生活習慣を保つことは、正常な免疫機能を保つために重要です。風邪をひかないこと、お酒の飲みすぎに気をつけること、タバコを控えることも鼻の粘膜を正常に保つために重要です。

### 通年性アレルギー性鼻炎

「花粉」以外のアレルギーがある人は、花粉がないときでも他の原因で花粉症のようなアレルギー症状がでます。

原因としては家の中のダニやカビ、ほこり、ペットの毛、昆虫の蛾や蚊などいろいろなものがあります。そして、花粉と同じく人によってその原因は異なります。

花粉症と違う点は、花粉症は原因になる「花粉」がなくなることで症状もなくなります。花粉以外の原因で花粉症のようなアレルギー症状がでる人は、一年中原因が近くにあることが多いため、季節関係なく通年で症状があるという点です。



# 住所の変更手続きをお忘れなく



太地町から他所の市町村に引っ越しをするとき、他所の市町村から新しく引っ越してきたとき、町内で引っ越しをしたときなど、住所を変更したときは役場で以下のような手続きが必要です。

## 転入届 < 太地町に引っ越しをして住み始めた方 >

【届出する人】引っ越しをした本人（世帯主や同じ世帯の方でも届出が可能です）

【届出の期間】太地町に住み始めて**14日**以内（期間を過ぎても必ず届けてください）

## 転出届 < 太地町から引っ越しして他の市町村に住み始める方 >

【届出する人】引っ越しをする本人（世帯主や同じ世帯の方でも届出が可能です）

【届出の期間】太地町から引っ越しをする日までに前もって届けてください。

## 転居届 < 太地町内でお住まいを変更し住所が変わった方 >

【届出する人】引っ越しをした本人（世帯主や同じ世帯の方でも届出が可能です）

【届出の期間】新しい住まいに住み始めて**14日**以内

## その他

【国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金・介護保険の届出について】

国民健康保険や後期高齢者医療、国民年金、介護保険に加入されている方は、上記の届をする際に加入している保険の資格異動手続きも行ってください。

左記の届をする際には本人確認が必要です。本人確認書類を忘れずにお持ち下さい。

（本人確認書類については、住民福祉課までお問い合わせください）

また、左記の届以外にも、引っ越しにともない様々な手続きが必要となります。各々の手続きは、“必要なもの”“届出人”“届出先”“届出期間”“発行してもらうもの”などが異なります。

詳しくは、役場住民福祉課までお問い合わせください。

太地町住民福祉課 住民係

☎59-2335

# 水ぼうそう・おたふくかぜ予防接種費用の一部助成について

平成23年10月から水痘（水ぼうそう）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の一部助成を行っています。

【助成対象】平成23年4月1日以降水痘ワクチンまたはおたふくかぜワクチンを接種したもののうち接種日において、1歳（1歳の誕生日以降）から3歳未満（3歳の誕生日の前々日まで）の子どもの保護者。

【申請期限】平成24年3月31日まで。（予防接種を受けた日の属する年度の末日までとする。）

【申請方法】以下の必要書類と印鑑を持参して太地町役場住民福祉課（☎59-2335）までお越しください。

## <<必要書類>>

- ① 接種の際の領収書
- ② 接種記録のある母子手帳または接種済証
- ③ 保護者の振込先の口座情報がわかるもの（\*ゆうちょ銀行の場合、通帳を必ずお持ちください。）



# 平成24年度調理師試験について

下記の日程で平成24年度の調理師試験が実施されます。

試験実施日時 : 平成24年5月31日（木）午後1時00分～午後3時30分

受験願書の提出期間 : 平成24年4月9日（月）～平成24年4月13日（金） 午前10時～午後5時  
※郵送による受付はできません。

願書の提出先 : 県内に居住している方、または県外で居住地県内で就業している方は最寄りの保健所へ、  
県外に居住・就業している方は和歌山県庁食品・生活衛生課まで持参してください。

<受験願書および調理業務従事証明書の配布>（その他受験に関するお問い合わせはこちらへ）

◎最寄りの保健所（新宮保健所 ☎0735-22-8551 新宮保健所串本支所 ☎0735-72-0525）

◎和歌山県庁食品・生活衛生課 ☎073-441-2624 ※受験願書の配布は平成24年3月5日（月）からとなります。

※和歌山県のHPでも試験案内が掲載されています。 [http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031600/50\\_cyourisi/index.html](http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031600/50_cyourisi/index.html)





## 「熊野学」研究会の開催

### Hosting a Conference for "Kumano Studies"

「熊野、太地の海外進出」と題した国際熊野学会の例会を、3月10日に太地町公民館で共催することになり準備を進めています。合わせて石垣記念館では移民の歴史に関する企画展も開催します。

例会では、カリフォルニア州サンピードロのターミナル島に暮らした人々に焦点を当てたドキュメンタリー映画「古里：失われた村、ターミナルアイランド」を上映します。この映画はデビット・メツェラー監督が2007年に製作したもので、間もなく日本語字幕版が完成します。太地出身の親の元にターミナル島で生まれた育った二世の方々も出演しています。

基調講演は、これまで我々が何度か調査に同行させて頂いた、日本移民学会会長の吉田亮氏(同志社大学教授)にお引受け頂きました。太地の日系二世がどのような教育を受けたかについて、太地をはじめ紀南の学校に残る資料を紹介しながらお話し下さるはずです。

さらにバンクーバーから二人の日系人研究者をお招きします。お姉様が下里にお住いのミツオ・エサキ氏は、ブリティッシュコロンビア州スティーブストンにおける日系人の暮らしについて、そして奥様のご祖父様が美浜町三尾出身のスタンレー・フカワ氏は、医師大石誠之助が創設に関わったスティーブストンの日本人病院についてお話し下さいます。カナダ日系人博物館に論文編集委員として関わるお二人は、これまでも我々のカナダにおける調査に協力して下さいました。

スタートしたばかりの歴史資料室ですが、応援して下さいる人々の輪は確実に広がっています。町民の皆様におかれましては、歴史資料室に対するご協力のほど、引き続きよろしくお願い申し上げます。



コラム くじらの耳はどこにある?

3月3日は、3の字が耳の形に似ていることと「み(3)み(3)」という語呂合わせから「耳の日」とされています。今回は、クジラの耳にまつわる話をご紹介します。

「クジラって耳がないんですか?」博物館を訪れる来館者からよく聞かれる質問の一つです。ここで注意しなくてはならないのが「耳」という言葉が指している部分です。ここで来館者の方がいう「耳」とはいわゆる犬のようにピンと飛び出したあれでしょう。生物学的には「耳介(じかい)」と呼ばれる私たちでいうところの耳たぶの部分は、クジラにはありません。水の中で受ける抵抗を減らし、水中生活に適応したために今からおよそ4,000万年前にはすでに無くなってしまいました。しかし、耳の孔は外から確認することができます。眼の後ろをよく観察すると小さなくぼみがみつけられるでしょう。これが外耳道の入口つまり耳の孔です。しかし、この孔はとても細くなっていて、ろう状の耳垢によってすっかりふさがってしまっています。これも水中生活に適応した結果で、外の水が耳の中に入るのを防いでいるのかもしれない。

ヒトは、空気中の音を振動として鼓膜に伝え、中耳から内耳を経て脳に送ることで聴覚を得ています。クジラも基本的な仕組みは同じです。しかし、水中では音の伝わり方が陸上と異なるので、彼らは音を伝える別の経路を身につけています。それは「あご」です。彼らは水中を伝わる音を下あごで受け、いわゆる「骨伝導」で内耳に伝えています。このようにして身につけたすぐれた聴覚に助けられながら、彼らは水の中でもコミュニケーションやエコーケーション(反響定位:音でものをみる能力)の手段として様々な音を利用して生活しているのです。

最近の研究で、イルカたちがコミュニケーションに利用している音について興味深いことが分かってきました。自然界では生き物は「食う・食われる」という関係にあります。生き残るためには、天敵からは食われないように隠れ、食べ物となる餌生物にはみつからないように隠れて忍び寄りなくてはなりません。イルカは「ピーピー」というホイッスルとよばれる音を使って、仲間とコミュニケーションをとっています。イルカたちの会話は、すぐれた聴覚の持ち主であるシャチには筒抜けです。魚やイカが餌生物であるのと同じように、シャチやサメの餌生物でもあるイルカにとって、会話を盗み聞きされることは天敵に食われる可能性を高めることになるでしょう。そんなシャチに見つからないように、ホイッスルを自ら封じたイルカたちがいることが分かりました。ラプラタカイルカ科、ネズミイルカ科、マイルカ科セツパリイルカ属といった小型のイルカの仲間です。彼らはホイッスルを失った代わりに、クリックスとよばれるエコーケーションのための音を、シャチに聞こえない高い音(高周波)で発するように進化させてきたようです(図1)。彼らはシャチが発する音を聞きながら、シャチに聞こえない音で餌生物の探索ができるという生き残るための戦略を身につけたのです。

しかし、シャチ側もだまって見ているわけではありません。シャチは音を発すると餌となるイルカに逃げられてしまうので、イルカを襲う前にはホイッスルは出さず、クリックスを最小限にとどめています。じっと聞き耳をたて、食べる側食べられる側は相手の動向を探るのです。今日もまた海のどこかでこのような自然界で生き残るための駆け引きが繰り広げられているはずですよ。(学芸員 中江 環)

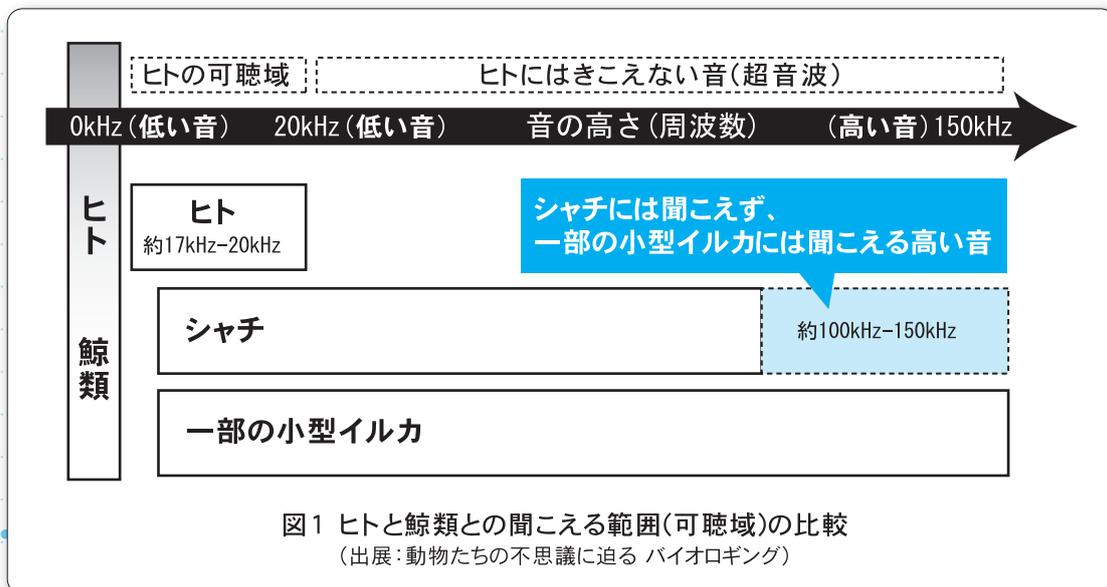


図1 ヒトと鯨類との聞こえる範囲(可聴域)の比較  
(出展:動物たちの不思議に迫る バイオロギング)

# お知らせ

太地いきいき  
情報コーナー

平成24年度就学援助募集

◎要保護及び準要保護児童生徒の就学援助制度  
経済的な理由によって就学が困難と認められる学齢児童生徒（小・中学生）の保護者に対して町及び国が支援することによって、等しく教育を受ける権利と機会を与え、教育の円滑な実施に役立てる制度です。  
※就学援助を希望される方は4月9日までに、教育委員会までお申し込み下さい。申請書は教育委員会にあります。

教育委員会

## ～串本海上保安署からのお知らせ～

### 海上保安庁自己救命策3つの基本

- ①救命胴衣の常時着用！
- ②適切な連絡手段の確保！（携帯電話には防水パックを！）
- ③「118番」の有効活用！（海のもしもは118!）

「危険 地磯釣り！ 救命胴衣の着用を！」

昨年中、和歌山県内において磯釣り中の人身事故が15件発生しその内8人の方が尊い命を失っています。

いずれの方も救命胴衣を着用していませんでした。

また、今年1月にも串本町大島で磯釣り中の方が海中に転落し、足の骨を折る大怪我を負っています。

船に乗船する時のみならず、  
マリンレジャー時には、  
救命胴衣の常時着用！

海の相談は「串本海上保安署」

電話番号 0735-62-0226



## 森林の土地の所有者届出制度の周知について

### 森林の所有者届出制度が4月からスタートします

昨年4月の森林法改正により、今年4月以降、森林の土地の所有者となった方は市町村長への事後届出が義務付けられました。

■**届出対象者** 個人・法人を問わず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず届出をしなければなりません。ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出している方は対象外です。

■**届出期間** 土地の所有者となった日から90日以内に、取得した土地のある市町村の長に届出をしてください。

■**届出事項** 届出書には、届出者と前所有者の住所氏名、所有者となった年月日、所有権移転の原因、土地の所在場所・面積とともに、土地の用途等を記載します。添付書類として、登記事項証明書（写しも可）又は土地売買契約書などの権利を取得したことが分かる書類の写し、土地の位置を示す図面が必要です。

※詳しくは役場産業建設課（59-2335）又は東牟婁振興局の林務課（21-9612）までお問い合わせください。なお、上記の内容は平成23年12月段階の検討内容です。

### 平成24年度 各種講習日程表（4月～7月）

建設業労働災害防止協会 和歌山県支部  
Tel(073)436-1327 Fax(073)426-3987  
講習場所 和歌山県建設会館 3F 会議室

講習の名称	日 時	受講料等	受開始付日
職長・安全衛生責任者教育 （リスクアセスメント導入）	4月10日(火)～4月11日(水)	¥12,500	3月12日(月)～
自由研削といし取替え試運転作業 者の特別教育	4月24日(火) 午後1時～	¥6,000	3月26日(月)～
石綿取扱い作業従事者特別教育	5月8日(火) 午後1時～	¥6,000	4月9日(月)～
足場の組立て等作業主任者	5月22日(火)～5月23日(水)	¥10,000	4月23日(月)～
丸のこ等取扱い作業従事者教育	6月5日(火) 午後1時～	¥6,000	5月7日(月)～
建設業等における熱中症予防指導員研修	6月12日(火) 午後1時～	¥6,500	5月14日(月)～
職長・安全衛生責任者教育 （リスクアセスメント導入）	7月10日(火)～7月11日(水)	¥12,500	6月11日(月)～
現場管理者統括管理講習 （リスクアセスメント導入）	7月24日(火)	¥8,000	6月25日(月)～

【注】講義時間は、何れもAM9:00～PM5:00（講義内容により、変更があります。）

定員になり次第、締め切ります。

申込者が少数の場合は、講習会を取り止める場合があります。

## 《保健衛生関係 3 月行事予定》

### 子育て支援関係

月 日	事業名	時間	場所
3月 8日 (木)	ちびっ子ひろば	10:00～11:00	ふれあいルーム
3月15日 (木)			

### 健康相談

月 日	事業名	時間	場所
3月 5日 (月)	成人健康相談 (血圧測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		14:00～15:00	老人憩の家
3月 8日 (木)	乳幼児身体計測	11:00～11:30	ふれあいルーム
3月26日 (月)	成人健康相談 (血圧測定)	15:00～15:30	森浦集会所
3月27日 (火)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	ふれあいルーム

### 健診

月 日	事業名	時間	場所
3月 1日 (木)	10 か月児健診	13:00～13:10 (受付)	那智勝浦町健康福祉センター
3月22日 (木)	4 か月児健診	13:00～13:10 (受付)	那智勝浦町健康福祉センター

### 健康教育

月 日	事業名	時間	場所
3月 2日 (金)	男の人の料理教室	10:00～13:00	公民館
3月 5日 (月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
3月19日 (月)			
3月12日 (月)			森浦集会所
3月26日 (月)			

## —白馬からお便り— 【姉妹都市「白馬村」コーナー】

### 白馬少年スキー大会開催



今シーズンも村内開催の白馬少年スキー大会の各種目が開催されました。大会期間中は各種目とも降雪・晴天と変わりやすい天気の中で競技となりましたが、近い将来、世界を目指す小中学生選手の今後に期待しましょう。

また、クロスカントリィ競技では白馬村出身でバンクーバー五輪日本代表の柏原理子選手が表彰プレゼンターとして後輩たちの激励に駆けつけました。

住民基本台帳  
(平成24年1月末日現在)  
総人口 3,416人  
男 1,541人  
女 1,875人  
世帯数 1,658世帯  
(前月比: 総人口 5人増  
世帯数 2世帯増)

犬のフンの後始末は飼い主が責任を持って行いましょう。  
また、飼い猫以外には餌を与えないでください。

役場 住民福祉課

